

第 29 回愛知県高等学校英語スピーチコンテスト尾張地区大会に参加しました

令和 4 年 9 月 17 日（土）、カルチバ新川にて開催された英語スピーチコンテスト尾張地区大会に、本校国際理解コース 2 年生の福留そらさんが参加しました。

福留さんは昨年度に続いての参加であり、練習を見てくださっていた ALT の Shamraiz 先生からも、昨年に比べて上達しているという言葉を送っていました。残念ながら県大会出場とはなりませんでしたが、練習の成果が表れた場面もあり、いい経験になったと思います。



今回は「To Give an Opinion『声を挙げるには』」というタイトルで、日本人の選挙投票率に関するスピーチでした。スピーチ内で、アメリカ元大統領のエイブラハム・リンカーンによる言葉、「Vote is stronger than violence『投票は暴力より強し』」を挙げました。かつては暴力で物事が決定されていたものが、人々の努力によって民主主義化され、民衆の声を選挙によって政治に反映することのできる世の中になりました。しかし今、日本の投票率は約 50%。せっかく獲得した投票権を有効的に生かすためにも「Votes are stronger than silence『投票は沈黙より強し』」を合言葉にしていきたい、という思いが込められたスピーチでした。その後は若い人の投票率が約 80%であるスウェーデンでの学校における取組や、日本政府が今後導入を考えている投票方法などを紹介しました。

今後の日本を背負っていく若い世代だからこそ政治に参加したい、また、周りにも参加してほしい。スピーチの初めはやや緊張した様子でしたが、上記の想いを述べる中盤から終わりにかけては調子よく、力強く話すことが出来ていたと思います。

今回の大会には 15 名が参加しておりました。どのスピーチも興味深く、また発表する姿はみな立派でした。新型コロナウイルス感染症により、英語関係の大会や発表もオンラインでの開催や映像発表が多いなか、実際にホールにて、他の参加者の前で発表できる今回の経験はたいへん貴重でした。かかってくるプレッシャーが大きい分、失敗してもくじけずに最後までやり通す勇気と度胸を身につけることが出来たと思います。2 年生である福留さんは来年度参加することはできませんが、この大会が最後の発表というわけでは決してありません。今後の授業ではもちろん、社会に出てからも人前で発表する機会がたくさんあるでしょう。その時にはぜひ、英語のスピーチをやり遂げたということを思い出して、自信を持って挑んでほしいと思います。

(右図：発表中の福留さん)

